

令和7年11月10日

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

事務局様

会員名 讀郷愛林協会

代表 田栗 栄一

「交流助成事業」活動実施報告書

1. 開催日時 令和7年11月1日（土）10:00～13:00

2. 会場 四王寺山周辺（倉吉市社・灘手地区）

3. 参加者 合計18人 [1団体、個人9人]

団体名・個人名	参加人数	団体名・個人名	参加人数
① (個人) 大島謙一 他5名	5人	⑤	
② 讀郷愛林協会	9人	⑥	
③ 会員家族	3人	⑦	
④ 外部講師 谷口瑞樹	1人	⑧	

4. 活動内容

(1) 四王寺山自然観察会

- 四王寺山には市が設置した展望台が2か所ある。
1か所は途中に東の打吹山そして旧市街から南の関金地区が見え、麓には奈良時代の中心地であった国府庁舎があったと説明があった。
もう1か所は四王寺の裏で、日本海から大山が一望できる場所にある。
- 11時過ぎ、目的地四王寺に到着。谷口講師より、白村江の戦いから、近くは太平洋戦争で、米軍の上陸に備えて長い塹壕を掘ることを子ども時代に経験したと話があった。人の歴史は常に戦いが表裏にある事を、ウクライナ、ガザと重ね合わせて感じた。
- その後は、岡田会員担当の自然観察で四王寺の周辺を散策し、主にきのこを探集。チラシのタイトルは「樹を見て地面を見る」で、樹木の下地面には樹木と共生するきのこが生えるということを表したとの説明があった。

(2) 昼食

- 地元スーパーの弁当に、岡田講師が採集したきのこ等と豚肉を加えた味噌汁をいただき大変好評だった。

(3) 葉脈標本の作製

- ・広葉樹の葉を薬品で処理し、柔らかい細胞を歯ブラシで除くと葉脈が残る。
 - 吸い上げられた水や養分はここを通って葉の細胞に運ばれ、最終的に水は大気に放出される。
- 実験後葉脈だけになった葉を4枚持ち帰り、しおりにならないか思案中。

5. 主催者の所見、活動の様子等

- (1) タイトルは四王寺山自然観察会だったが、歴史のある山であり地元講師の谷口先生に歴史講座をお願いした。先生は倉吉農高に40年近く奉職され、林業の担当だったそうで、ハキハキと元気のよい説明だった。
- (2) 自然観察は当協会の岡田講師にお願いし、屋根のある展望台で雨を気にすることなく葉脈を残す実験も用意され、皆が楽しく満足した様子。
- (3)いつも参加者募集に苦労するが、今回日本海新聞の予告記事（無料）に依頼したところ、1夫婦含め4人の参加があり効果があった。

6. 交流事業の写真



展望台にて集合写真



採集したきのこの説明

以 上